

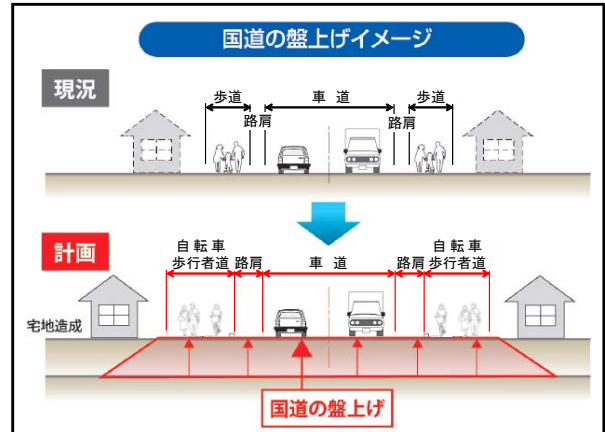
復興祈念公園内の国道45号の整備について

～「岩手45号復興」(陸前高田市高田地区)～

1. 「岩手45号復興」について

「岩手45号復興」は、陸前高田市～宮古市における国道45号の現道改良事業です。

東日本大震災で津波により壊滅的な被害を受けた三陸地域において、沿道のまちづくり計画と一体的に国道45号の再配置や盤上げ等の事業を行い、被災地の早期復興を図ることを目的としています。



2. 復興祈念公園内の国道45号の整備

◆ 整備方針

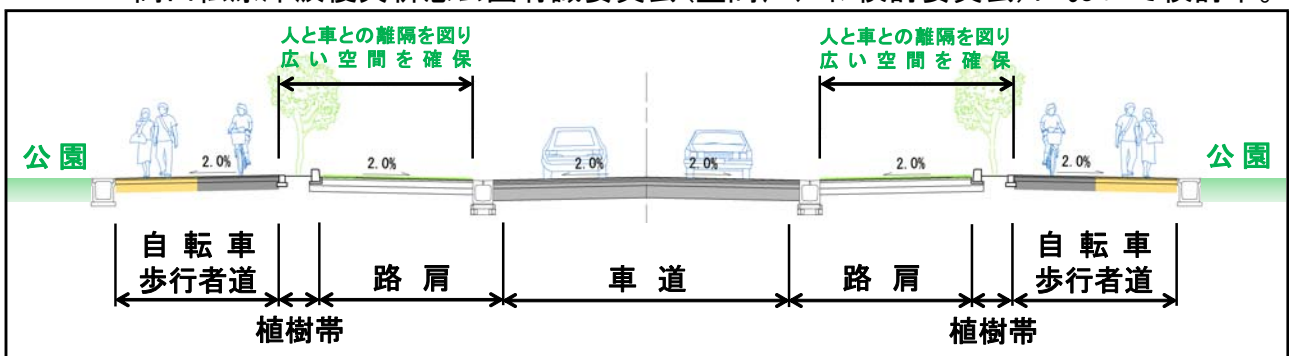
陸前高田市においては、「高田松原津波復興祈念公園」が計画されており、平成27年8月に基本計画が策定されました。基本計画において国道45号は、「公園との空間的な調和を図る接続空間」と位置付けられています。

◆ 計画概要

【幅員計画】

特徴的な幅員構成として、人と車との離隔を図り広い空間を確保することで、周辺環境と一体感のある道路空間を計画しています。

⇒高田松原津波復興祈念公園有識委員会(空間デザイン検討委員会)において検討中。



▲ 幅員計画のイメージ図

【平面計画】

現国道と同じ位置に嵩上げします。

また、嵩上げ盛土や幅員変更の影響により、道路両側に拡幅する計画です。

【縦断計画】

国道高は、周辺計画との整合性を図るとともに、国道を横断する排水管の高さ等を考慮し計画しています。なお、嵩上げ盛土高は約2～3mです。

3. 国道45号の迂回路計画

◆ 目的

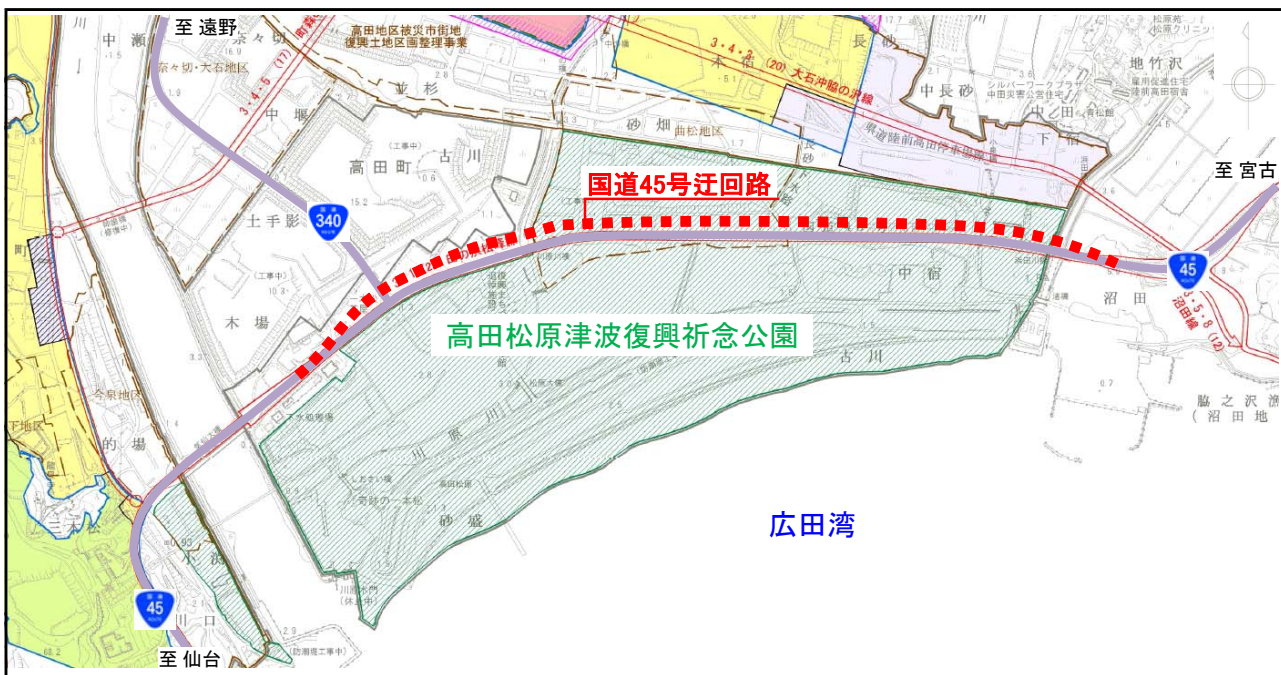
国道45号は、現位置での嵩上げとなることから、一般交通を一時的に迂回させる必要があります。

◆ 計画概要

【計画位置】

国道45号の迂回路は、現国道の北側に設置する計画です。

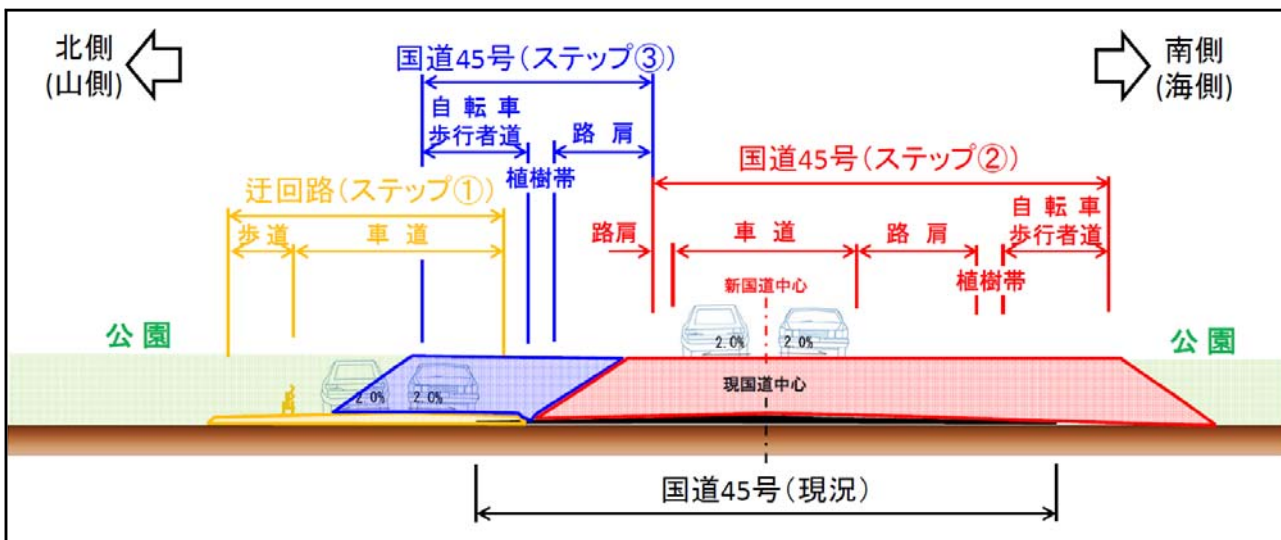
なお、迂回路の詳細な通過位置は、関係機関と協議・調整中です。



▲ 国道45号迂回路位置図

【施工ステップ】

- ・ステップ①：迂回路を現国道45号の北側（山側）に設置し、一般交通を切り替え。
- ・ステップ②：南側（海側）の国道嵩上げを行い、一般交通を新国道に切り替え。
- ・ステップ③：迂回路を撤去後、北側（山側）の国道嵩上げを行い、工事が完成。



▲ 施工ステップ説明図